

# 漢字教材用データベースの活用

加藤扶久美・岩本阿由美・遠藤祥子・永山香織・横堀慶子

## Practical Use of the Databases for Teaching Materials of Kanji

KATOH Fukumi, IWAMOTO Ayumi, ENDO Shoko,  
NAGAYAMA Kaori, YOKOHORI Keiko

### 要 旨

筆者らは、本学の日本語学習者（漢字圏・非漢字圏）が、各々の能力とニーズに合った漢字学習ができるように、漢字教材用データベースの作成を目指して、漢字データベースを完成し、その利用方法を解説したマニュアル『漢字データベース（DB）の使い方』を作成した。本稿では、漢字データベースの概略について述べ、その作成過程で新しく考えた「優先部首」、「もどき部首（M）」について紹介する。さらにデータベースを活用して作成した漢字教材「漢字の形から覚える日本語能力試験漢字リスト」、「ピンインから覚える漢字の音読み」を紹介し、今後の課題と展望について述べる。

【キーワード】 漢字データベース、体系的、漢字学習、優先部首、もどき部首（M）

## 1 はじめに

外国人留学生に対する日本語教育においては、文法を中心とした総合的な日本語能力を体系的に身につけさせるためにメインテキストを使用し、それに加えて漢字教科書・教材等による漢字教育が行われることが多い。

初級レベルにおいては主に『みんなの日本語初級 I, II』（以下、『みんな I, II』と略す）、中級レベルにおいては『文化中級日本語 I, II』（以下、『文化中級 I, II』と略す）、『現代日本語コース中級 I, II』（以下、『CMJ I, II』と略す）などがメインテキストとして使用されている。

漢字学習においてよく使われる教科書は、『Basic Kanji Book Vol. 1』（以下、『BKB 1』と略す）、『Basic Kanji Book Vol. 2』（以下、『BKB 2』と略す）、『Intermediate Kanji Book Vol. 1』（以下、『IKB 1』と略す）、『Intermediate Kanji Book Vol.2』（以下、『IKB2』と略す）、『漢字の道』などである。

ところが、これらのメインテキストと漢字教科書をともに使用する場合、漢字圏・非漢字圏の出身者であるか、漢字能力はどのくらいあるか、どのような教育機関でどのようなテキストを使用してきたかなど、さまざまな背景を持つ学習者に対応することは、一般に困難である（加納・酒井 2003）。また、書字教育一つ取っても、その必要性についての論議は未だ定まっていない（川瀬 1988, 玉村 1993, 市川 1998, 和田 2002）が、学習者の漢字学習の主たる目的である読解のための漢字運用能力獲得（小林 1998）には、辞書検索能力を身につけ、語構成についての認識を深める必要がある（カイザー 1998）と考えられる。

このような状況の中で、筆者らは、外国人日本語学習者（漢字圏・非漢字圏）が、各々の能力とニーズに合った体系的漢字学習が出来るようにする為に、漢字教材用データベース作成が最適だと考え、FileMaker Pro5.5 を使用し漢字データベース及び語彙データベースを作成することにした。

本稿では、まず完成した漢字データベースの概要を述べてから、学習者と教師のそれぞれを対象に、

その利用方法を解説したマニュアル『漢字データベース (DB) の使い方』について説明する。次に、具体的な活用例として作成した「漢字の形から覚える日本語能力試験漢字リスト」、「ピンインから覚える漢字の音読み」について紹介し、さらに今後の課題と展望について述べる。

## 2 漢字データベース (漢字 DB)

### 2.1 漢字データベースの概要

図1は漢字DBのカードの例である。以下、図の中の各フィールドについて説明する。

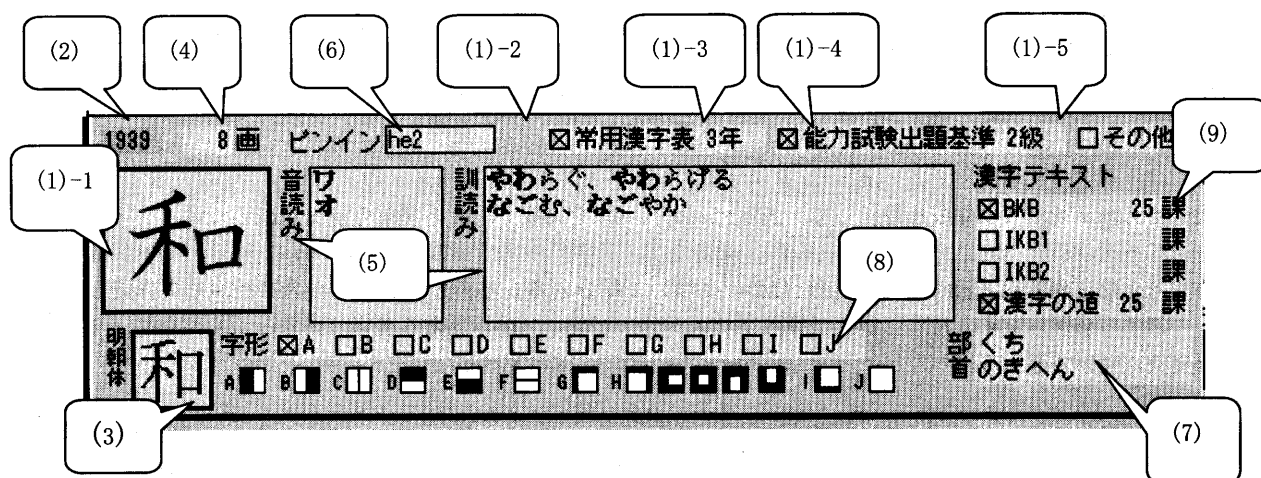


図1 漢字DB

#### (1) 見出し漢字

見出し漢字〔(1) - 1〕は総数 2094 字で、以下のものから成る。

- ①常用漢字表 1945 字 [(1) - 2]
- ②1 級漢字表 2036 字 (第 1 水準漢字 1926 字, 第 2 水準漢字 110 字) [(1) - 4]
- ③『外国人留学生の日本語能力の標準と測定 (試案) に関する調査研究について』より 55 字 [(1) - 5]

『外国人留学生の日本語能力の標準と測定 (試案) に関する調査研究について』よりの 55 字は、常用漢字表にはないが人名、地名によく使われる漢字である。[(1) - 3] は、学年別漢字配当表に基づき、小学校の学習漢字 (1006 字) を学習する学年である。学習漢字以外は「一般」とした。

字体は手書きに近い教科書体を使用した。

#### (2) 通し番号

見出し漢字の通し番号は、まず常用漢字の 1945 字、次に 1 級漢字表の 2036 字のうち常用漢字表にないもの、その後『外国人留学生の日本語能力の標準と測定 (試案) に関する調査研究について』からの 55 字がナンバリングしてある。

#### (3) 字体

見出し漢字の教科書体と対照できるように、(3) のフィールドには新聞や雑誌の活字に使われる明朝体が入れてある。

#### (4) 画数

『日本語大辞典』に基づいた総画数。

#### (5) 読み

常用漢字表をもとに音読みがカタカナで、訓読みがひらがなで入れてある。音読み、訓読みのいずれか一方のものもある。訓読みの漢字部分の読みは太字、送り仮名の部分は標準にしてある。漢字部分の読みが同じものは同じ行にまとめてある。

#### (6) ピンイン

中国語を母語とする学習者は漢字から大体の意味を理解することができ、非漢字圏の学習者より有利な面はあるが、漢字の読みにおいて中国語の発音が影響し、かえって困難を感じる場合もある。そのような中国語話者が独習する時、漢字の読みを素早く調べられるように、中国語（北京語）の発音を基にしたピンイン（中国式ローマ字つづり）から漢字が検索できるように、このフィールドを作成した。

ピンイン入力については『中国人のための漢字読み方ハンドブック』を参考にしたが、四声（中国語の4つの声調）の示し方については、中国語を入力する場合に多くとられている方法（アルファベットの後に数字で入れる）を採用した。

mā ⇒ ma 1

ma / ⇒ ma 2

ma ˇ ⇒ ma 3

ma \ ⇒ ma 4

また、[y]の音を表す「ü」に関しては、入力の便宜上、学習者が使っている以下のような方法を取り入れた。

① ü → v            例 nū → nv

② üe → ve, ue      例 nüe → nve, nue

（「ve」、「ue」いずれも使用されていることから、併記した）

「畑」や「塀」など日本で作られた漢字は、ピンインがないため、「国字」と入れてある。国字の中には「働」などのように中国語に取り入れられているものもあるが、本DBでは「国字」と入れてある。

#### (7) 部首

『康熙字典』を基にしている『日本語大辞典』を基準に、部首名が入れてある。異なるテキストを使ってきた学習者の便宜を考慮し、1段目に『日本語大辞典』の部首名が、2段目に『IKB 1』の字形索引用部首リストの中で『日本語大辞典』と異なる部首名が入れてある。そのほか、「しんにょう」、「しんにゅう」は、「しんにゅう」に統一した。また、同じ名称で異なる部首を示す場合は、「ひへん（火）」「ひへん（日）」のように意味が分かるようにしてある。

## (8) 字形パターン

部首の知識がなくても字形の特徴から漢字が検索できるように、字形パターンが設けてある。左右 (A, B), 上下 (D, E), たれ (G), かまえ (H), によ (I), 全体 (J) の A から J に大別した。例えば、「畑」のように、部首が A の「へん」か B の「つくり」かが分からない場合は、パターン C を選択すればよいようになっている。

それぞれの漢字の字形パターンの決定にあたっては、部首にとらわれず、学習者が選ぶ可能性が高いものが選んである。

## (9) 漢字テキスト

初級から中級で使用されている漢字テキスト (『BKB1, 2』『IKB1, 2』『漢字の道』) について、これらの漢字テキストの提出課が示してある。『BKB』は Vol.1 から Vol.2 にかけて一続きの課構成になっているため、ひとつにまとめてある。見出しの漢字が『IKB1, 2』でコラム欄と復習ページに提出されているものについては、それぞれ「コ1」, 「R1」としてある。

## 2.2 字形パターン

### 2.2.1 字形パターンの分類基準

字形パターンは、部首名がわからなくても、字形の特徴から漢字を検索できるように設けたフィールドである。

2094 字の漢字を A ~ J の 10 のパターンに分類するに当たり、次のような基準を設けた。

まず、「にんべん」「くさかんむり」など、よく使われる部首を「優先部首」とし、その部首を含む漢字を優先的にその部首のある字形パターンに分類した。「優先部首」は A, B, D, E, G, H, I のパターンにあり、全部で 30 種類ある。すべての部首名を覚える必要はないが、一般的な部首名を知ることが漢字学習の助けになるとも考え、適度な数を選定した。

- A さんずい にんべん てへん きへん ごんべん いとへん くちへん かねへん  
こざとへん りっしんべん つちへん つきへん のぎへん ぎょうにんべん  
おんなへん しめすへん
- B りっとう おおがい ぼくによ おおざと
- D うかんむり くさかんむり なべふた たけかんむり
- E こころ かい
- G まだれ やまいだれ
- H もんがまえ
- I しんにゅう











次に、左右の A か B, 上下の D か E を選ぶ際は、より画数の少ないものや、学習者が初期に学習すると思われる漢字がある方のパターンに分類した。学習者は、知っている漢字を目安にパターンを選ぶと思われるからである。『漢字データベース (DB) の使い方』には、優先部首か、簡単な漢字・部首がある場所が黒くなっていると、説明してある。

また、A か B, D か E を選ぶ際、どちらにも決定的な判断材料がなく、どちらとも決めかねる場合は、C, F に分類することとした。

さらに、分割できない漢字や、その漢字自体が部首になるものは、J のパターンに分類した。ただ、画数の多い漢字も 1 つの部首として J に分類すると、J パターンに分類された漢字の総数が多くなり、検索する時、目標の漢字になかなか到達しにくいので、部首になるものの中で分割できそうなものは分


割して、他の字形パターンに分類した。





分類例



- A  例 : 確, 敗, 晩, 焼, 狭, 配
- B  例 : 動, 歌, 難, 親, 朝, 印
- C  例 : 飲, 加, 現 / 弱, 報, 疑
- D  例 : 暑, 電, 今, 岩, 置, 売
- E  例 : 型, 点, 盛, 肯, 緊, 委
- F  例 : 学, 男, 要 / 予, 冬, 農
- G  例 : 友, 存, 屋, 原, 産, 肩
- H  例 : 可, 式 / 医, 国, 円, 画
- I  例 : 起, 建, 処, 題, 直, 勉
- J  例 : 出, 天, 必 / 金, 月, 雨



### 2.2.2 字形パターンを使って検索する方法

① 優先部首がある → 優先部首のある場所 (A, B, D, E, G, H, I から選択)


例 「泳」 「さんずい」が優先部首なので, A 



② 優先部首が2つある → どちらも選ぶ (例 A  と B  か D  と E 

例 「利」 「のぎへん」と「りっとう」の2つが優先部首なので, A  と B 

「憲」 「うかんむり」と「こころ」の2つが優先部首なので, D  と E 

③ 優先部首はないが、簡単な漢字・部首が1つある → 簡単な漢字か部首のある場所 (例 A か B, D か E)

例 「異」 「田」が簡単なので, D 

④ 優先部首はないが、簡単な漢字・部首が2つある → C  か F 

例 「精」 優先部首はないが、「米」と「青」はどちらも簡単な漢字なので, C 

「胃」 優先部首はないが、「田」と「月」はどちらも簡単な漢字なので、F

⑤ 優先部首も簡単な漢字・部首もないが、分け方はわかる → C  か F

例 「愛」 わかる漢字・部首がない → F

⑥ 分けられない → J

例 「五」 → J

⑦ 部首表<sup>1)</sup>にある → J

例 「斤」 → J

⑧ 部首表にあるが、分けられる → J と (A～I から選択 選択の基準は上と同じ)

例 「非」 部首表にあるが、優先部首はなく、簡単な漢字・部首がない → J と C

検索の際、2つのパターンを選ぶことによって目標の漢字に到達しやすくなる。

さらに、漢字に「優先部首」がある場合は、その部首名を入れ、その部首がある場所 (A, B, D, E, G, H, I) にチェックを入れ検索することで、早くみつけることができる。

### 2.2.3 もどき部首 (M)

もどき部首というのは下の例にあるように、部首名に「M」をつけて、その部首名と同じように扱うものである。全部で150あるが、作った目的によって、2つのグループに分けられる。

#### Iグループ (合計60)

学習者から見て形が同じであるが、部首名が異なるものを含む漢字を、1つの部首名で一度に全部検索できるように「M (もどき)」を設定した。

字形パターン A  の黒い部分が「月」の漢字は全部で35字あるが、そのうち32字 (91.4%) は「つきへんM」である。

つきへんM (32) 肝 脚 胸 肢 脂 臓 胎 胆 脱 肪 胞 膨 膜 脈 腰 腕  
腫 膝 肘 股 脇 脹 腸 胴 脳 肺 肌 肥 腹 臍 臑 豚

おうへんM (=たまへん) (5) 環 珠 琉 珍 斑

かたへんM (=ほうへん) (3) 旗 施 於


とりへんM (=ひよみのとり) (9) 醇 酷 酌 酢 酬 醜 釀 醉 酪

ぼくにょうM (=のぶん) (8) 枚 徵 徹 撤 微 赦 致 牧

ひとあしM (=にんにょう) (2) 克 充

#### IIグループ (合計90)

学習者から見て漢字の中に部首と同じ形を含むのに、その部首の漢字として扱われていない漢字がある。そのような漢字を、もともとその部首の漢字とされている漢字と同様に、その部首名で検索できるように「M」を設定した。

字形パターンD  の黒い部分が「一」の漢字は全部で39字あるが、そのうち33字(84.6%)は「なべぶたM」である。

|               |   |
|---------------|---|
| ぎょうにんべん M (2) | 衡 衝   |
| おおがい M (2)    | 瀬 煩   |
| りっとう M (1)    | 測   |
| ふるとり M (1)    | 唯   |
| なべぶた M (33)   | 衣 意 育 音 棄 玄 言 高 豪 斎 市<br>充 (ひとあしM) 商 辛 衰 齊 卒 率 畜 帝 童 蛮 文<br>変 方 褒 忘 夜 裏 立 竜 恋 六 |
| うかんむり M (10)  | 究 窮 空 穴 窃 窓 窠 窠 突 寶   |
| くさかんむり M (5)  | 繭 幕 募 墓 慕   |
| がんだれ M (2)    | 灰 曆   |
| まだれ M (8)     | 慶 麻 摩 磨 魔 鹿 唐 腐   |
| とだれ M (2)     | 肩 戸   |
| とらがしら M (2)   | 慮 膚   |
| ほこづくり M (7)   | 威 裁 裁 戴 式 式 武   |
| どうがまえ M (8)   | 向 册 尚 商 (なべぶたM) 兩 岡 南 丙   |
| かくしがまえ M (2)  | 匠 臣   |
| かんにょう M (1)   | 幽   |
| しんにゅう M (1)   | 巡   |

Iグループの場合も、IIグループの場合も、学習者にとっては同じ形に見えるにも拘わらず、部首名が異なっているため、学習者が認識した部首名で検索しても、目標の漢字にたどり着けないことがある。Mを設定することによって、そうした事態を防ぐことが出来る。

### 2.3 『漢字データベース (DB) の使い方』

学習者及び教師を対象に本DBの活用の仕方を説明したマニュアル『漢字データベース (DB) の使い方』<sup>2)</sup>を作成した。その内容は以下のとおりである。

#### 『漢字データベース (DB) の使い方』の内容

学習者のみなさんへ

1. このDBに入っている漢字
2. カードについて

見出し漢字、常用漢字・学習漢字・日本語能力試験の級の表示方法、通し番号、字体、画数、読み、ピンイン、部首、字形パターン、漢字テキストについて説明

3. 利用の仕方

- 1) 検索の方法
- 2) カードを並べかえる方法
- 3) 読み方が知りたいとき
- 4) 漢字テキストの各課の学習漢字を知りたいとき

注1 優先部首

1) 優先部首とは？

2) 優先部首の使い方

注2 字形パターンの選び方

注3 検索条件の「記号」の使い方

先生方へ

利用方法の例

- 1) 異なった漢字テキストで勉強してきた学習者の既習・未習漢字が知りたい場合
- 2) テスト作成時に、テストに使用可能な漢字を把握したい場合
- 3) 部首や読みが同じ漢字を集めたい場合
- 4) 選択式問題の混乱肢を考える場合
- 5) 該当級の漢字の中で未習のものが知りたい場合

具体例とその操作方法の説明

- 1) コース途中で入ってきた学習者のための補習教材作成
- 2) 学習漢字が異なる学習者に対する授業
- 3) 選択式問題作成

注1 ピンインについて

注2 部首について

## 2.4 漢字データベースの活用

本DBには1枚のカードにそれぞれの漢字の読み、総画数、ピンイン、部首などの情報が含まれるため、通常の漢字字典と同じように、それぞれの漢字についてのいろいろな情報を得るために使うこともできるが、全2094字の漢字のなかから指定した条件に合致する漢字を全てリストアップすることも可能である。また、それぞれの漢字は4種類の漢字テキスト（以下「漢字テキスト」は特に断らない限り、このDBで扱った4種類の漢字テキストを指すものとする）のうち、どのテキストのどの課で学習するか、日本語能力試験・学習漢字などのどの級、どの学年に該当するかも知ることができる。そのため、漢字テキストや小学校の教科書を用いた学習、日本語能力試験受験を目指した学習などに活用することもできる。具体的には、例えば以下のような利用が可能である。なお、それぞれの教材作成の詳しい手順は、本DBのマニュアル『漢字データベース（DB）の使い方』を参照されたい。

### (1) 日本語能力試験受験に向けて漢字テキストを用いて学習する場合

一般の漢字テキストでは、日本語能力試験の4級の漢字から順に3級、2級、1級の順に提示されているとは限らない。また、出題基準にある漢字すべてが漢字テキストで学習できるとも言えない。したがって、各級の出題基準の漢字を効率よく学習するためには、その漢字が漢字テキストのどの課に出てくるか、テキストにない漢字は何かということリストアップすることが必要である。

この場合、検索モードで「能力試験出題基準」の受験級をチェックして検索した上で、ソートを使って漢字テキストの課の順に並べかえればリスト化できる。リストにはまずテキストにない漢字から並ぶ。

### (2) 異なる漢字テキストを使用してきた学習者がクラスで学習を始める場合

各漢字テキストで学習漢字の提出順が異なるため、クラスでは学習済みであっても新しい学習者にとっては未習となる漢字がある。その漢字をクラスでの学習開始時点で明らかにして、補習などの措置を取る必要がある。

この場合、クラスの既習漢字リストのファイルを作ったあと、メニューバーの「レコード」>「対



象レコード削除」を用いて新しい学習者の既習漢字をリストから削除すれば、補習すべき漢字のリストを作ることが出来る。

- (3) レベル別あるいは漢字圏・非漢字圏別に異なったテキストを用いる複式授業で、特定の部首などをテーマにして一斉授業を行う場合

一斉授業の中でテーマに合った既習漢字の例を挙げるには、各学習者が使用している全テキストで学習済みの漢字から当該漢字をリスト化しておくことが必要である。

この場合、検索モードで各漢字テキストの課の範囲を記入し、読み、部首、ピンイン・字形パターンなどテーマに沿った条件を記入して検索する。

- (4) 適当な漢字を選ぶ選択式の問題を作る場合

選択肢として正答のほかに読みや部首、字形パターンなどの点が正答と共通した適当な混乱肢が必要になる。

この場合、テキストの出題範囲を指定したうえで、正答の漢字と部首などの面で共通した漢字を検索して、その中から選ぶことができる。本DBの場合、ピンインのデータが入っているので、それを考慮して中国語話者にとってより適切な混乱肢を選ぶことができる。また、部首で検索した場合、Mで部首名が入っている漢字もリストアップされるので、部首が類似した漢字も含めて、より広い範囲から混乱肢を選ぶことができる。

### 3 「漢字の形から覚える日本語能力試験漢字リスト」

本漢字DBの具体的な活用例として、教師や学習者が同じ部首をもつ漢字を整理するために役立つ資料を作ってはどうかと考えた。そこで、まずは代表的な部首である優先部首ごとに漢字リストを作成し、「漢字の形から覚える日本語能力試験漢字リスト」としてまとめた。

優先部首を持つ漢字数（1142）は漢字DBにある漢字総数（2092）の54.5%を占める。

各漢字リストの構成としては、日本語能力試験の級を基準にして、易しい4級から順に並べ、試験の範囲外の漢字は、図2のように、「常用漢字一般」「その他」として、4級、3級、2級、1級の次に加えた。また、それぞれの漢字数も括弧内に記した。図3の「もんがまえ」を例にとると、ヘッダーにある「H1」は字形パターンHの中の優先部首の1つ目にあたることを示し、「13字」は、もんがまえを部首とする漢字の総数である。

常用漢字 一般 (1字) ←

|      |     |      |                                       |                                   |                                   |                            |                              |                            |                            |                            |                            |
|------|-----|------|---------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1384 | 5画  | ピンイン | <input checked="" type="checkbox"/> ぬ | <input type="checkbox"/> 常用漢字表 一般 | <input type="checkbox"/> 能力試験出題基準 | 級                          | <input type="checkbox"/> その他 |                            |                            |                            |                            |
|      | 音読み | 訓読み  |                                       | 漢字テキスト                            |                                   |                            |                              |                            |                            |                            |                            |
| 明細   | 字形  | 図A   | <input type="checkbox"/> B            | <input type="checkbox"/> C        | <input type="checkbox"/> D        | <input type="checkbox"/> E | <input type="checkbox"/> F   | <input type="checkbox"/> G | <input type="checkbox"/> H | <input type="checkbox"/> I | <input type="checkbox"/> J |
|      |     | A    | <input type="checkbox"/>              | <input type="checkbox"/>          | <input type="checkbox"/>          | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>     | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>   |
|      |     | 部    | おんなへん                                 |                                   |                                   |                            |                              |                            |                            |                            |                            |

その他 (1字) ←

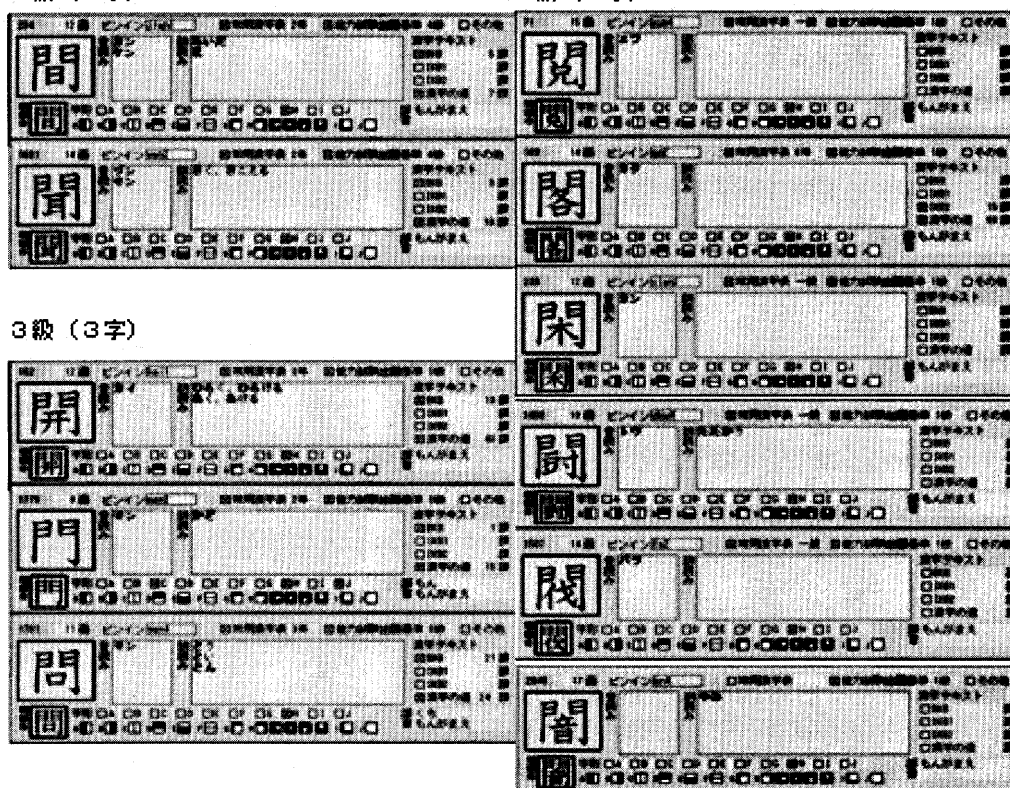
|      |     |      |                                       |                                |                                   |                            |   |                            |                            |                            |                            |
|------|-----|------|---------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 2067 | 12画 | ピンイン | <input checked="" type="checkbox"/> ゑ | <input type="checkbox"/> 常用漢字表 | <input type="checkbox"/> 能力試験出題基準 |                            | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |                            |                            |                            |                            |
|      | 音読み | 訓読み  |                                       | 漢字テキスト                         |                                   |                            |   |                            |                            |                            |                            |
| 明細   | 字形  | 図A   | <input type="checkbox"/> B            | <input type="checkbox"/> C     | <input type="checkbox"/> D        | <input type="checkbox"/> E | <input type="checkbox"/> F              | <input type="checkbox"/> G | <input type="checkbox"/> H | <input type="checkbox"/> I | <input type="checkbox"/> J |
|      |     | A    | <input type="checkbox"/>              | <input type="checkbox"/>       | <input type="checkbox"/>          | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>                | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>   | <input type="checkbox"/>   |
|      |     | 部    | おんなへん                                 |                                |                                   |                            |   |                            |                            |                            |                            |

図2 おんなへん（日本語能力試験範囲外の漢字のみ）

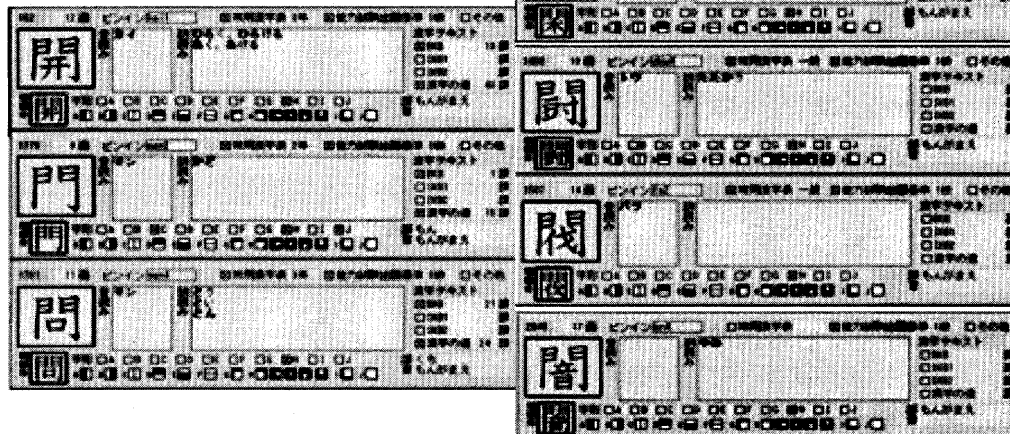
H1 もんがまえ (13字)

4級 (2字)

1級 (6字)



3級 (3字)



2級 (2字)

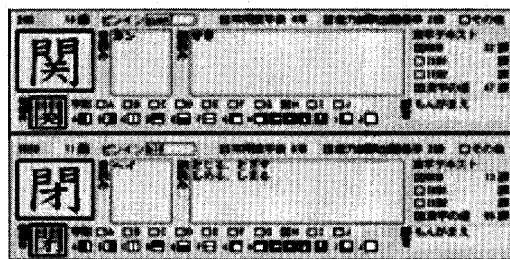


図3 もんがまえ

## 4 「ピンインから覚える漢字の音読み」

### 4.1 試作意図

中国からの留学生が多いにもかかわらず、ピンインと日本語の漢字学習をつなげる練習問題はあまりない。そこで今回、漢字DBの活用例として、「ピンインから覚える漢字の音読み」(練習問題)を試作した。本DBは同じピンインや似たピンインの漢字をすぐにリストアップできるので、効率的にこのような教材が作成できる。

### 4.2 内容

本練習問題は全20シート(四択問題が7シート、三択問題が13シート)で、1シートあたり8~10問(四択の最後のシートのみ6問)ある。

1つの問題にはピンインが同一の漢字が挙げてあり、その中から日本語の音読みが異なるものを選択する問題である。

<問題例>

ピンイン：Jing4

選択肢：境 鏡 競 淨

(「境」「鏡」「競」は「キョウ」と読むのに対し、「淨」のみが「ジョウ」と読むので、「淨」が正解)

各問題には、選択肢の漢字全ての熟語例が1～3ずつ挙げてある。

<熟語例>

境：環境(かんきょう) 国境(こっきょう)

鏡：望遠鏡(ぼうえんきょう) 顕微鏡(けんびきょう)

競：競争(きょうそう) 競技(きょうぎ)

淨：浄化(じょうか) 洗淨(せんじょう)

熟語例を挙げる際、次のような語彙を中心に入れた。

- ① 『みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ』、『文化中級Ⅰ・Ⅱ』、『現代日本語コース中級Ⅰ・Ⅱ』で使用されている語彙
- ② 日常的によく目にすると考えられるもの
- ③ (複数の例を挙げる場合) 漢字の持つ意味が異なる語彙  
＜例＞ 惑：惑星(わくせい) 迷惑(めいわく)
- ④ 難しい語彙だが、留学生生活上必要であると考えられるもの

なお、問題の試作版作成にはWEB問題作成ツール(<http://www.iwai-h.ed.jp/javascript/webquiz/>)を利用した。

## 5 今後の課題と展望

漢字教材用DB作成に向けて、当初、漢字データベースと語彙DBを連動させて作業を進めていた。ところが、「部首の知識がなくても字形から漢字が検索できるように」と考えて設けた「字形パターン」の決定に当たり、ひとつひとつの漢字を検討する必要がでてきて予想以上の作業量となったために、とりあえず漢字DBを完成した。

この漢字DBを学習者と教師の両方に利用してもらうために、『漢字データベース(DB)の使い方』を作成したので、多くの人に利用してもらうためにPRと試用の機会を持ちたいと考える。

太田他(2002)のように、学習漢字(日本語能力試験2級レベル)のデータベースと連動させた種々の教材作成には及ばないが、「ピンインから覚える漢字の音読み」の問題作成時には、漢字DBと語彙DBを連動して活用することができた。本練習問題の試用版は富山大学留学生センター「日本語学習支援サイトRAICHO」に入れる予定である。今後、試作版を学習者に利用してもらうことによって、ピンインと日本語の漢字の音読みを関連付けるこの練習問題がどれほど学習者の記憶の助けになるか、その効果を計りたいと考えている。

また、「漢字の形から覚える日本語能力試験漢字リスト」に語彙DBを連動させることができれば、より利用価値が高まると思われる。

今後、引き続き本漢字DBの活用例を示していければと考える。

## 注

- 1) 『日本語大辞典』漢字音訓一覧の部首表に基づいた。
- 2) 本 DB を教師の指導を受けず単独で使用する学習者は、ある程度漢字学習および日本語学習が進んでいると考えられるため、「学習者のみなさんへ」の部分の日本語のレベルは初級修了レベルとなっている。

## 参考文献

- (1) 市川伸一 (1998) 「認知心理学と日本語教育」『平成 10 年度日本語教育学会秋季大会』
- (2) 梅棹忠夫他監修 (1989) 『日本語大辞典』講談社
- (3) 大越美恵子・高橋美和子編 (2002) 『中国人のための漢字読み方ハンドブック』スリーエーネットワーク
- (4) 太田亨・藤田佐和子・中村朱美 (2002) 「上級漢字教材作成プロジェクトについて」『金沢大学留学生センター紀要』第 5 号 pp.69-96
- (5) 外国人の日本語能力に関する調査研究協力者 (1982) 「『外国人留学生の日本語能力の標準と測定 (試案) に関する調査研究について』の報告」文化庁
- (6) カイザーシュテファン (1998) 「非漢字圏=悲観事圏」脱却への道—漢字教育から語彙教育へ—『平成 10 年度日本語教育学会秋季大会』
- (7) 加藤扶久美・岩本阿由美・遠藤祥子・永山香織・横堀慶子 (2004) 「漢字教材用データベース作成に向けて」『富山大学留学生センター紀要』第 3 号 pp.22-31
- (8) 加納千恵子・清水百合・竹中弘子・石井恵里子 (1999) 『Basic Kanji Book Vol. 1』第 3 版, 凡人社
- (9) 加納千恵子・清水百合・竹中弘子・石井恵里子 (1999) 『Basic Kanji Book Vol. 2』第 3 版, 凡人社
- (10) 加納千恵子・清水百合・竹中弘子・石井恵里子 (2001) 『Intermediate Kanji Book Vol. 1』第 3 版, 凡人社
- (11) 加納千恵子・清水百合・竹中弘子・石井恵里子 (2001) 『Intermediate Kanji Book Vol. 2』凡人社
- (12) 加納千恵子・酒井たか子 (2003) 「漢字処理能力測定テストの開発」『筑波大学留学生センター 日本語教育論集』第 18 号 pp.59-80
- (13) 川瀬生郎 (1988) 「日本語教育における漢字」『漢字講座 12 漢字教育』明治書院 pp.273-296
- (14) 国際交流基金・日本国際教育協会 (1994) 『日本語能力試験出題基準』凡人社
- (15) 小林由子 (1998) 「漢字授業における漢字学習—認知心理学的モデルによる検討—」『北海道大学留学生センター紀要』第 2 号 pp.88-102
- (16) スリーエーネットワーク (1998) 『みんなの日本語初級 I』スリーエーネットワーク
- (17) スリーエーネットワーク (1998) 『みんなの日本語初級 II』スリーエーネットワーク
- (18) 玉村文郎 (1993) 「日本語教育における漢字—その特質と教育—」『日本語教育』80 号 pp.1-14
- (19) 豊田豊子 (1990) 『漢字の道』凡人社
- (20) 内閣 (1981) 「常用漢字表」内閣告示第一号
- (21) 名古屋大学日本語教育研究グループ (1998) 『現代日本語コース中級 I』名古屋大学出版会
- (22) 名古屋大学日本語教育研究グループ (1999) 『現代日本語コース中級 II』名古屋大学出版会
- (23) 濱田美和・後藤寛樹・深澤のぞみ (2004) 「日本語学習支援サイトの役割と効果—大学における総合的日本語学習支援体制の構築とサイトの開設—」『富山大学留学生センター紀要』第 3 号 pp.1-14
- (24) 文化外国語専門学校日本語課程 (1999) 『文化中級日本語 II』凡人社
- (25) 文化外国語専門学校日本語課程 (1999) 『文化中級日本語 II』凡人社
- (26) 文部省 (1993) 「小学校学習指導要領」『小学校学習指導書 国語編』ぎょうせい
- (27) 和田衣世 (2002) 「中国人学習者向け漢字教材の必要性について」『北海道大学留学生センター紀要』第 2 号 pp.88-92